



第17-94号

2018年2月20日

「健康経営優良法人～ホワイト500」認定のお知らせ

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2018年2月20日に経済産業省が健康経営銘柄に準じた先進的な企業を選ぶ「健康経営優良法人（ホワイト500）」（注1）に認定されたことをお知らせします。

当社では、2017年9月に「小田急電鉄健康経営宣言」を制定し、健康管理を経営的な視点で考え、社員の健康保持と増進を推進するため「健康管理から疾病を未然に防ぐための健康支援へ」をスローガンに健康経営に積極的に取り組んでいくこととしました。この方針を踏まえ、社員の健康増進に向けた様々な取り組みを進めています。

具体的な健康の保持と増進の取り組みは「生活習慣病予防」「鉄道係員適性維持」「メンタルヘルスケア」という3テーマを定め、健康管理センタースタッフ（産業医・看護師）が現業および本社の全70職場を対象に情報提供と実践指導を積極的に行っているほか、ストレスチェックの結果を職場毎に分析し、各職場にフィードバックすることで快適な職場づくりを推進しています。加えて、生活習慣病予備群の減少に向けた取り組みとして、小田急グループ健康保険組合と連携し、生活習慣病の発症リスクが高い社員を対象に、生活習慣を見直す特定保健指導を行うなど、疾病を未然に防ぐための1次予防活動に積極的に取り組みました。

一方、社内コミュニケーション活性化の取り組みとして、経営層と社員とが垣根なく意見交換を行い、働きやすい職場環境を構築するために、社長と各部署に所属する社員との間で座談会を実施し、会社の方向性はもとより職場で生じている課題などについて活発な議論、情報交換を行う場を設けました。

今回の「健康経営優良法人（ホワイト500）」認定に当たっては、経営層と健康経営推進事務局（人事部・健康管理センター・小田急グループ健康保険組合）が連携し、上記の各種施策を鋭意推進したほか、客観的なデータに基づき施策の効果検証を実施するなど、より良い取り組みに向けてPDCAサイクルを円滑に実行している点を評価されました。これを機に社員の健康保持・増進に向けて、更なる取り組みの強化を図っていきます。

（注1） 経済産業省が2016年度に創設した認定制度。経済産業省と日本健康会議が共同で上場企業に限らず、保険者と連携して優良な健康経営を実践している大規模法人を顕彰するものです。

【参考】

○ 小田急電鉄健康経営宣言

お客さまの「かけがえのない時間（とき）」と「ゆたかな暮らし」の実現に貢献するためには、さまざまな個性や能力を持つ社員が心身共に健康でいきいきと働くこと、また、社員を支える家族も健康であることが、何よりも重要であると考えます。

この考えの下、小田急電鉄は社員と家族の健康保持・増進に組織的かつ積極的に取り組み、お客さまに日本一安全で快適な鉄道としてご利用いただけるよう、また小田急沿線で豊かな暮らしを実現していただけるよう、社会に貢献してまいります。

○ 健康経営優良法人（ホワイト500）認定証ならびにロゴマーク



以上